

さんこらぼ

コラボレーション・シナジー

~いつしょに成長 地域と学校~

平成27年 6月

こらぼとは三谷小学校学校支援・地域共生本部“さんこら”が発行している地域の方、地域団体、保護者に向けた広報紙です。

学校支援・地域共生本部、9年目27年度がスタートしました！



4月 1年交通安全教室



茨城警察署の方より交通ルールを教えていただきました。
お手伝い保護者の方と一緒にさっそく学校の外へ。
信号が青でも自分の目で確認！右左右！



三谷小の学校支援・地域共生本部は9年目を迎えました。昨年度は文部科学省から地域が育てる学校として表彰を受けました。

それはずっと前から、地域の方々やPTAの皆さんの力の積み重ねの結果だと思います。支援本部としては今も子供たちのために活動していきます。

可能な方、お手伝いください。忙しくてお手伝いが出来ない方、支援本部の活動を見守ってください。そして機会があれば何かしら関わっていただければ幸いです。

私たちは、子供たちが感じる

『幸せ度No.1の学校』を目指します！

どうぞよろしくお願ひいたします。



本部長 植松 威博

地域の方に付き添いと公園での見守りのお手伝いをお願いしました。

5月 1年はらっぱ公園遠足



《さんこら会議》

学校、PTA、読み聞かせ隊、三谷サタデー、おやじの会、青少年委員等の代表の方々と2ヶ月に1度、「こらぼーど」に沿った打ち合わせや情報交換をしています。

学校支援本部《さんこら》活動計画

- 今年度も引き続き、朝遊び見守り隊、伝承遊びの他、
- 1年 給食お手伝い、交通安全教室見守り、はらっぱ公園遠足
- 2年 かけ算九九チェック、ケチャップ作り、町たんけん、
- 3年 習字、自転車安全教室、高齢者体験、
- 4年 車椅子・アイマスク体験、
- 5年 家庭科ミシン、味噌汁作り、
- 6年 ハローワーク（職場体験）などがあります。

詳しくは三谷小学校のカレンダー『さんやごよみ』裏面の「こらぼーど」をご覧ください。

今年も八重のどくだみ咲いています！



第7回交流会

平成27年1月17日開催

~テーマ：三谷小と地域のこれから~



『地域による学校支援活動』推進団体として、文部科学省より表彰されました。都内では5校のみ。



鈴木主幹教諭より、学校と支援本部の連携についての事例発表がありました。



山岸校長より「良い町が良い学校を作る。子供たちの学びは学校だけではできない。地域と10年20年と繋がっていきたい」とお話をありました。

今回多くのご意見を頂きました。今後の活動につなげていきます！



挨拶とコミュニケーションの取り組みが大切

給食が美味しい

地域の方の大きな関わりがわかった安心して学校に通わせられる(PTA)

小学校と連携できる事はいくつもある(地域)

農芸、工業高校の協力で小学校では体験できない事ができる

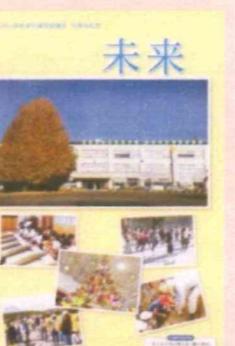


地域の力を見ました。小中一貫の中で授業を効率よく進めたい(井草中)

良い学校をめざしていろいろ考えると最後は地域連携になる(CS)

CSフェスタ

平成27年3月14日開催



10周年記念冊子『未来』



左より 山岸校長、橋本会長、井出教育長、小林PTA会長

~CS10年 語ろう！未来の三谷小~



■CSフェスタ報告～学校運営協議会会長 橋本昭彦

コミュニティ・スクール(CS)である三谷小には、地域にご在住・ご在勤の多様な経験の皆様を代表する学校運営協議会が置かれ、実社会の意見を学校に届けています。3月14日の「CSフェスタ」では3登壇者がCS10年の意味を語りました。

まず会長の私は、10年の歩みに加えて、今年は児童全員に学校や自分への期待を聞かせてもらい、一人一人の手書きの「夢」を一挙収録した10周年記念冊子『未来』(写真)を作ったご報告をしました。ついでPTAの小林洋介会長は、PTA役員は1年交代だけれども、CS校ではPTAでのいろいろな活動を「卒業してから」の活動につなぐことができるという「未来」の可能性を語りました。

スペシャル・ゲストの井出隆安教育長からは、CSになった効果として、
①先生が子供をより肯定的にみられるようになった、
②保護者が先生をより信頼するようになった、
と心強い言葉をいただきました。